

The Whisper from Amherst



エミリーのささやき

この詩は、He（彼は）とかhim（彼を）を使って、エミリー自身ではなく、誰かほかの詩人について述べているかのように書かれていて、具体的に誰のことなのかは明らかではありませんが、エミリーの「詩」や「詩人」についての思いがこめられている作品です。

普通の感性しか持ち得ない者と、amazing sense（アメイジングセンス 驚くべき感覚）にあふれた詩人との対比がとてもわかりやすく表現されています。amaze(アメイズ)とは物・事・人が（人を）びっくりさせる、驚嘆させるという意味の動詞です。エミリーの詩はこの世に生み出されてから約150年経た今でも私たちがアメイズしてくれます。

This was a Poet—It is That

*This was a Poet — It is That
Distills amazing sense
From ordinary Meanings —
And Attar so immense*

これが詩人というもの — 詩人とは
ありふれた意味のものから
驚くべき感覚を —
また戸口で枯れてしまった

*From the familiar species
That perished by the Door —
We wonder it was not Ourselves
Arrested it — before —*

ありきたりの草花から
すばらしい香水を抽出する人 —
わたしたちには不思議です — 前に
自分がそれをとらえられなかったことが —

*Of Pictures, the Discloser —
The Poet — it is He —
Entitles Us — by Contrast —
To ceaseless Poverty —*

いろんな絵を、発掘して見せる人 —
詩人とは — そういう人で —
わたしたちを — 反対に —
絶え間ない貧困にふさわしい者として

*Of Portion — so unconscious —
The Robbing — could not harm —
Himself — to Him — a Fortune —
Exterior — to Time —*

分け前については — とんと無頓着で —
強奪しても — 損害を与えられない —
詩人は — みずからが — 財産で —
時間の — 外にあるのです —

